

運動会を取りやめ

水俣商議所とチッソ新労

経費を患者救済に

工場も復興祭を中止

水俣病患者の救済が叫ばれているおり、地元水俣市内では商店街の運動会など、お祭りの気分を自棄するムードが随まり、経費の一部を水俣病患者救済資金に当てようという話も出ている。

催し物を取りやめたのは現任三つで、まず商議所主催で毎年盛大に行なっていた商店街親睦の大会運動会を中止、運動会に必要な経費の一部を水俣病患者の救済資金に当てる計画だという。

また先に水俣病救済基金センターに一人千円カンパで百三十万円を贈ったチッソ新労（沢田保組合長）でも組合員家族の大運動会を取りやめることに決定。チッソ水

俣工場でも、戦時中工場の約九割を空襲で爆破されたが、戦後二十年十月十五日に硫酸肥料第一号を出した工場復興を記念してその後毎年全市民あげて盛大に行なっていた復興記念祭（三十七年の大空襲後昨年までは従業員の日だけで催しはやっていない）もことは中止して自棄することになった。